

未来への軌跡

志を持ち、未来を創ろう！ 気付き、考え、動く！ 翁中生！

翁頭中学校だより
6月27日 第6号
文責 校長 山下



翁頭っ子の心を見つめる教育週間

「一秒の言葉」で思いやり

先週一週間、教育週間として学校を公開し、初日の20日には、全校朝会で、長崎県で教育週間が始まった経緯をふまえ、次のような話をしました。

「心を見つめる教育週間の目的の中で最も大切なのは『命を大切にする心や思いやりの心』です。『自分の命は自分で守る』という意識を強く持つてほしいと思います。・・・(中略)・・・令和2年5月に女子プロレスラーの木村花さんが亡くなりました。亡くなる直前、木村さんのツイッター上には、『死ぬね。失せる。消えろ。』などの誹謗中傷の投稿が毎日100件以上あったということです。みなさん、どうでしょうか。時に、ことばは大きな力を持ち、人の命を奪うこともあるのかなあと考えさせられます。

朝、校門前で、私が気付かなくとも遠くから『おはようございます。』という挨拶をしてくれる人が多くいます。また、わざわざ校長室を見て、『こんにちは』という挨拶をしてくれる人もいます。それを聞いて、私自身が元気をもらい、とても清々しい気持ちになります。1秒のことばに込められたその人の思いやりを感じます。

わずか1秒のことばですが、これほど人の心を気持ちよくするんだなあと感じます。

『1秒のことば』
大切にしたいですね。」

一秒の言葉

作 小泉 吉宏

- 「はじめまして」
この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。
- 「ありがとう」
この一秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることがある。
- 「がんばって」
この一秒ほどの短い言葉で、勇気がよみがえってくることもある。
- 「おめでとう」
この一秒ほどの短い言葉で、しあわせにあふれることがある。
- 「ごめんなさい」
この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある。
- 「さようなら」
この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになる時がある。
- 一秒に喜び、一秒に泣く。
- 一生懸命、一秒。

「命について考える授業...」

御参観ありがとうございました

教育週間中は、自分自身の心を見つめる取組が行われました。

21日(火)には、長崎で被爆された池田道明様による被爆体験講話を実施しました。被爆した時の情景や人々の様子を聞くことができ、現在の日本が平和であることは当たり前ではないことを実感し、平和の大切さを改めて学ぶことができました。

22日(水)には、五島市国保健康政策課の出口由紀様による食育講話を実施しました。1年生対象に、朝食の大切さを中心に話をしていただきました。

23日(木)は、各学級の道徳の授業を公開しました。1年生は、「ばあばとの生活の中で、考えさせられた家族の絆」、2年生は、「13歳の若さで亡くなった猿渡瞳さんの生き方」、3年生は、「臓器ドナーについて」を題材にして、生命の尊さについて考えました。家族との関わりの中で、自分自身を見つめることができました。



<1年道徳>



<2年道徳>



<3年道徳>



- 1日:キャプテン会
心磨清掃強調日
- 4日:食の指導(1年)
- 5日:租税教室(3年)
- 11日:心磨清掃強調日
- 12日:実行部会
- 13日:食の指導(2年)
- 14日:生徒集会

【教育週間を終えて】

教育週間を終えて、5日間での参観者が全部で35名(地域の方を含む)。コロナ禍でもあり、仕方がないと思いつつも、やっぱり少ないと感じ、要因を考えたい。「保護者への周知不足。期間中の教育活動内容。保護者との懇談会。地域との交流会。・・・」
私自身、いろいろと反省すべき点がある。先日の学校支援会議でも伝えたが、これからの学校は、地域・家庭・学校が共通認識のもと、子どもたちを共に育てていくことが大切である。今回の授業参観は2学期となるが、この反省を生かして内容を充実させたいと思う。
間もなく夏休みになります。部活動等も含めて、ぜひ、子どもたちの様子を見に来ていただければと思います。